



くらしの中のかくれた危険

～その使い方、本当に大丈夫ですか？～

7月号では、夏に多い事故について、nite・製品安全センターの事例を紹介します。

[事例①]

扇風機から出火、全焼・やけど

使用中の扇風機付近から出火し、住宅を全焼して1人が重度のやけどを負った。

(2011年7月 宮城県)



なぜ？

(原因)

30年の長期使用により、部品から異常発熱、さらにスパークが発生して周囲のほこり等に着火したものです。また、スイッチを入れたまま、その場を離れていました。

次の症状がみられたら、使用を中止してください。



- ・スイッチを入れてもファンが回らない
- ・スイッチを入れても回らないが、叩くと回り出す
- ・ファンの回転が遅かったり、不規則だったりする
- ・モーターが熱い・焦げ臭い、異常な音がする
- ・コードが折れ曲がったり、破損している

[事例②]

子どもが花火でやけど

親が持っていた花火に1歳の子どもが手を添えたところ、竹製の柄が折れて火花が散り、子どもが顔と目にやけどを負った。

(2009年5月 熊本県)



なぜ？

(原因)

子どもの力が思いがけず強かったために柄が折れ、その衝撃で花火の火の粉が飛散したものです。取扱説明書には「3歳以下には使用させない」旨、記載されていました。



花火は必ず大人が付き添ってください。

万一のとき、消火できるように水の入ったバケツなどを用意して、花火の遊び方、注意事項を必ず守りましょう。

[事例③]

**カセットボンベが爆発して
6人がやけど**

カセットコンロの火が消えたため
火をつけ直し、3回目のつけ直し
の後にカセットボンベが爆発して
6人が顔などにやけどを負った。
(2009年11月 神奈川県)



なぜ？

(原因)

五徳を裏返した状態で使用していたため、
カセットボンベの内圧が上昇し、圧力安全装置が
作動して自動消火をしていました。
それに気づかず火をつけ直して使用したため、
カセットボンベの変形が進み爆発したものです。



五徳は正しく装着してください。
また、コンロを2台並べての使用はしないでください。
コンロを覆うような大きな鍋なども使わないでください。
炭をコンロ上の金網に乗せて火をおこしたため、
炭の熱でボンベが過熱され、ボンベが破裂した
という事故も発生しています。
直接、炭をおこすのも危険です。
取扱説明書をよく読んで、正しい使用を！！

自分自身と、周囲の人たちを守るためにも、
正しい安全チェックで、楽しい夏休みを！！

“2012 八王子環境フェスティバル” 出展報告

6月2日(土) 10:00 ~ 17:00 に開催された、
“2012 八王子環境フェスティバル” に出展しました！
たくさんの方にご来場頂き、エコマークについて
学んだり、悪質商法被害防止キャンペーンを実施したり、
啓発活動を行いました。



八王子市消費生活センター

相談受付日時：月～土曜日(祝日・年末年始を除く)

午前9時～午後4時30分

(相談専用電話)

☎631-5455

相談は無料、秘密は厳守します。

*土曜日にお越しの際は、事前に電話連絡をお願いします。

八王子市消費生活センター

〒192-0082 東町5-6 クリエイトホール 地下1階

